他の先進諸国における研究では、GSA は学校の活動に影響を与え、セクシャル・マイノリティの生徒に対する学校の雰囲気改善に役立つ可能性があるということが明らかになっています。7000 人を超える LGBT の学生に関する研究の中で、Kosciw らは、米国における GSA の存在は同性愛者に対する嫌悪感を減らし、性的指向性や表現が原因で起こる迫害を減らし、学校の安全と団結を高めることを見出しました。また GSA の存在が、セクシャル・マイノリティの若者の自殺リスクを下げることと関連しているとする研究も、わずかですが存在しています。

5.3. 居心地のいい空間を作ろう > セクシャリティーへの誤解

URL: http://wysh.jp/qy/positive/05 03.html

セクシャリティーへの誤解

同性愛者って自分で選んで、同性愛者になったの?

いいえ。異性愛者も選んで異性愛者になったのと同じく、同性愛者も選んでいません。セクシャリティーは選べるものではありません。

同性愛は病気?

いいえ。同性愛は病気ではありません。なので、「治す」必要もないのです。昔、精神病として扱われていた時期もありましたが、1993年に、WHOが、『国際疾病分類』から同性愛を除外しました。つまり、同性愛は病気ではないと示したのです。

性同一性障害と同性愛は同じ?

いいえ。性同一性障害者は心の性と身体の性が一致していない状態です。つまり、 自分が女性なのに、男性の身体に閉じこまれているようなこと(または、その逆) です。

ですが、同性愛者と自称する人は必ずしもそうではありません。単純に、身体の性別が同じな人を好きな人のことを指す言葉です。

ゲイは女っぽく、レズビアンは男っぽい?

いいえ。考えてみてください。異性愛者の中でも、すごくマッチョで男臭い人もいれば、今でいう草食系男子のような人もいます。同性愛者もそうです。所詮同じ人間ですから、人それぞれ違います。同性愛者だからって皆同じわけではありません。

同性愛者の大人に育てられた子供は同性愛者に?

いいえ。今まで、このトピックスについて、数多くの研究がなされてきましたが、同性愛者の親に育てられた子供の同性愛者の割合は異性愛者の親に育てられた子供と比べ有意な差はなかったのです。同性愛者に育てられた子供の大多数は異性愛者なのです。

5.4. 居心地のいい空間を作ろう > サポートしましょう。(先生方へ・保護者の皆様へ・そして友だちのみんなへ)

URL: http://wysh.jp/qy/positive/05 04.html

サポートしましょう。(先生方へ・保護者の皆様へ・そして友だちのみんなへ)

ご自分の生徒や子どもや友達が、ゲイ、レズビアン、バイセクシャルである、 又は自分の性について迷っている、という事がわかったら、まずはあなたが 彼らに対して抱く感情を試されているのだ、ということを知ってください。 性の多様性を大きく受け入れられる安全な空間作りにあなたが貢献するため には、いくつもの方法があります。

一般的には:

- 秘密を守ること。カミングアウトされたということは、彼らがあなたを信用しているということ。またあなたがその情報を好意的に受け止め、サポートしてくれるだろうと彼らが考えていることを意味するのです。
- セクシャル・マイノリティについて、あなた自身が学ぶこと。このサイトで、その学びを始めるための基本的な情報を得ることができます。
- 彼らが、彼らの性的指向性についてあなたが知る前と全く同じ人物であることを決して忘れないこと。告白を受ける前と後で、あなたが何も変わっていないことを告げること。

- 彼らの性的指向性を変えようと助言したり、試みたりは決してしない こと。
 - それは決して一時的な事柄ではないからです。
- よい聞き手となり、また自らよく話すこと。
- 支持者であること。支持する人は、彼らに対する平等と公正、またお 互いを尊敬して受け入れることの大切さを他の人たちにわかってもら うよう手助けすることができます。
- 言葉はたやすく人の心を傷つけます。汚い言葉や攻撃的な言葉を使わないこと。

あなたが先生なら:

- 教室を安全な場所に保ち、偏見、悪口、同性愛などに対する嫌悪感やいじめを、もし見たり聞いたりした時には、いつでもそれをとめることのできる空間にしておくこと。
- セックスや性、また性的指向性についてオープンに話すことを学ぶこと。
- 性的指向性や偏見・嫌悪感をなくすための教育をする機会を逃さずつ かむこと。
- 生徒が自分で自分を傷つける恐れがあり、法的に報告する義務がある 時以外は、生徒が自ら彼らのアイデンティティを告白するまで、両親 を巻き込まないこと。

あなたが保護者なら:

- セックスや性、また性的指向性についてオープンに話すことを学ぶこと。
- 精神的・身体的・性的健康に影響を与える行為について、子ども自身 がその行為が健康的なものかそうでないか区別するのを助けること。
- 必要な時には、子ども達が様々な支援・情報などの資源を使えるよう 手助けすること。

あなたが友だちなら:

- 率直に話してくれたことに対して、感謝の気持ちを表すこと。彼らは あなたからのたくさんの励ましと勇気を必要としています。
- 友だちをひとりぼっちにしないこと。
- 告白を聞く前にしていたと同じように、その友だちに接すること。

6. 面白い情報

URL: http://wysh.jp/qy/intersting/index.html



面白い情報

- →ビデオ
- →映画
- \rightarrow \star

6.1. 面白い情報 > ビデオ

URL: http://wysh.jp/qy/intersting/06 01.html

"そこまで強がらなくていい!" hotline (www.ungdomstelefonen.no)から

URL: https://www.youtube.com/watch?v=pBhlldVdgow

"君のままでいい" フランスのマクドナルドのCMから

URL: https://www.youtube.com/watch?v=SBuKuA9nHsw

"ルノートゥンゴ" ルノーUK から

URL: https://www.youtube.com/watch?v=qYO-zPWaXrA

"Get up!"

Get up! Action for Australia, an activist group から

URL: https://www.youtube.com/watch?v= TBd-UCwVAY

"俺はストレートだ"

International Lesbian, Gay, Bisexual, Trans and Intersex Association

URL: https://www.youtube.com/watch?v=dJ3ryepj79I

6.2. 面白い情報 > 映画

URL: http://wysh.jp/qy/intersting/06_02.html

映画

- アジアンクィア映画祭 http://aqff.jp
- 関西クィア映画祭 http://kansai-qff.org/
- 東京国際レズビアン&ゲイ映画祭 http://tokyo-lgff.org
- 青森インターナショナル LGBT フィルムフェスティバル http://www.aomori-lgbtff.org/

6.3. 面白い情報 > 本

URL: http://wysh.jp/qy/intersting/06_03.html

本

現在準備中です

7. ちょっとちょっと退屈だけど科学的なデータ

URL: http://wysh.jp/qy/scientific/index.html



ちょっとちょっと退屈だけど科学的なデータ

日本語

若者の HIV 感染予防対策 - 複合予防モデルとしての WYSH プロジェクト.

木原 雅子

日本臨床 68 巻:541-545 頁, 2010 年

我が国の若者の性行動は,過去20年の間に大きく変化した.著者の知るかぎり,短期間にこれほど急速な変化を経験した国は,先進国,途上国を問わずほかに見当たらない.本稿では,まず,

若者の性行動に生じた変化と現状を紹介し、その対策の戦略について論じる. 「1. 若者の性行動と流行の文脈」 我が国の若者の性行動の変化は、高校生の性経験率の変化に最も象徴的に現れている. 1980 年代初期には、男女とも 20%前後に過ぎなかった高校 3 年生の性経験率は 2005 年には、男性 38%、女性 46%と大幅に上昇し、かつ男女逆転という劇的な現象が生じた. こうした女性優位の若年化とともに、多数の相手を経験する傾向や多様な性行動を行う傾向が強まり、また 1990 年代以降のコンドーム国内出荷量の激減に示されているように、性行動の無防備化も進行し、若者の間には、性感染症や HIV が伝播しやすい脆弱な性的ネットワークが形成されるに至っている.

英語

The Health of Lesbian, Gay, Bisexual, and Transgender People: Building a Foundation for Better Understanding.

Institute of Medicine (US) Committee on Lesbian, Gay, Bisexual, and Transgender Health Issues and Research Gaps and Opportunities.

Washington (DC): National Academies Press (US); 2011.

米国の医学研究所から出されたこのレポートは、様々な年代のレズビアン、ゲイ、バイセクシャルそしてトランスジェンダーの人々の健康について、現在までに明らかになっていることを編集して提供している。さらに本レポートは、今後のよりよい理解のため、研究間に存在するギャップや、研究議題の概要について確認を行っている。

レポートのダウンロードはここ

8. よくある質問

URL: http://wysh.jp/qy/faq/08_01.html



どこで検査できるの?

男性の場合は泌尿器科で、女性は産婦人科で検査を受けることができます。また、保健 センターでも検査を受けることができます。場所によって、無料なところや、即日で結 果がわかるところもあります。

全国 HIV/AIDS 検査・相談マップ

以下のリンクで近くの HIV 検査・相談窓口を探せます。 http://www.hivkensa.com/(日本語)

保健センターの検査

保健センターの検査は場所によって、予約が必要なところがあります。また、決まった曜日にしか検査を行っていないところが多いです。なので、http://www.hivkensa.com/にて、近くの保健センターや HIV 検査・相談窓口は何曜日、どの時間帯でサービスを提供しているか確認してください。

また、自分の住んでいる都道府県、市区などとは関係なく、どこの保健センターでもサービスを受けることができます。HIV以外に検査も受けられます。どの性感染症の検査を提供しているかも http://www.hivkensa.com/ 確認できます。

以下のリンクからも保健センターの場所・連絡先を確認できます。 http://www.phcd.jp/03/(日本語)

B型肝炎・C型肝炎の検査

B型肝炎・C型肝炎の検査の場所を以下のリンクで確認できます。 http://kensa.kan-en.net/(日本語)

9. 助けて!

URL: http://wysh.jp/qy/help/index.html



助けて!

→せくシャリティー向けホットライン

→いじめホットライン

9.1.助けて!> せくシャリティー向けホットライン

URL: http://wysh.jp/qy/help/10 01.html

せくシャリティー向けホットライン

HIV・性感染症の情報センター ゲイの街の公民館

• Community Center Dista(コミュニティセンター ディスタ)

〒530-0027 大阪市北区堂山町 17-5 巽ビル 4F

Tel: 06-6361-9300 / Email: office@mash-osaka.com

時間:17:00~23:00 定休日:火曜日、年末年始 • Community Center Akta(コミュニティセンター アクタ)

〒160-0022 新宿区新宿 2-15-13 第2中江ビル301

Tel: 03-226-8998 / Email: info@akta.jp

時間:16:00~22:00 定休日:第二日曜日

同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング/専門家会議 (AGP)

• AGP こころの相談

Tel: 03-3319-3203 (毎週火曜 夜 8 時~10 時) / Email: mail@agp-online.jp

• AGP 関西 こころの相談

Tel: 06-6325-6864 (第2·4水曜 夜8時~10時) / Email: mail@agp-

online.jp

• カミングアウトサポート相談

Tel: 03-3319-3203 (第1月曜 夜9時~11時) / Email: mail@agp-online.jp

QWRC(Queer and Women's Resource Center)

• レスビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インター セックスの当事者や家族・友人の電話相談

〒530-0015 大阪市北区中崎西1-1-7 トーカンマンション東梅田408 (地下鉄谷町線中崎町駅下車、4番出口より徒歩1分)

Tel: 06-6374-0488 / Email: <u>info@qwrc.org</u> 時間: 毎月第1月曜日の19: 30~22: 30

http://www.qwrc.org/index2.html

9.2.助けて!> いじめホットライン

URL: http://wysh.jp/qy/help/10 02.html

いじめホットライン

24時間いじめ相談ダイヤル

Tel: 0570-0-78310 (有料)

子どもの人権 110番

Tel: 0120-007-110 (無料) 時間:平日8:30~17:15

10. 我々の活動

URL: http://wysh.jp/qy/activities/11 01.html

我々の活動

現在準備中です

11. お問い合わせ

URL: http://wysh.jp/qy/contact/index.html



お問い合わせ

下記フォームにご記入の上、送信ボタンを押してください。

●お問い合わせ内容の入力

お名前 (ニックネーム可) 必須

年齢 必須

都道府県 必須

E-mail アドレス 必須

電話番号

お問い合わせ内容 必須

AREA 5: QUICK FACTS

URL: http://wysh.jp/qy/answer/index.html#answer1



絶対に読んでおくべき衝撃ニュース!!

1口へも性病がうつるって本当!?

すべての性病の菌やウイルスはのどの奥に住み着く習性を持っています。だから、性器→ 口または口→性器にうつるのです。

2 妊娠より性病の方が 4 倍多い?

妊娠中絶する人の4倍もの人が、本人も気づかないまま性病に感染しています。

3 若い子ほど性病にかかりやすい!

セックス開始年齢が早いほど性病にかかりやすくなります。特に若い女性は、子宮の入り口が成人女性にはない柔らかい粘膜(円柱上皮細胞)におおわれていることなどにより、性病にかかりやすいのです。

4 若者の 10 人に 1 人が性病って本当?

近年、性病のひとつであるクラミジアに感染している人が増加しています。しかし、クラミジアに感染していても無症状のため、気付かずにいる人が多いのが現状です。ある県では高校1年生から3年生の約5000人を超える人々を尿検査したところ、なんと性経験のある男女の約10人に1人がクラミジアに感染しているという結果が得られています。

今井博久(「高校生のクラミジア感染率調査」SEXUALITY) (2005;19:28-31)

5性病はほとんど症状なし!

性病の一つであるクラミジアにかかっても女子の 80%、男子の 50%は症状がなく、淋病やその他の性病でも多くの人で症状が出ません。しかし症状がなくても人にうつります!! 症状がなくても性病です!!

6性病を治療しないと不妊に?

性病を治療しないで放っておくと、女子の場合、「赤ちゃんができなくなる」「流産・赤ちゃんの目や肺の病気」「耐えられないような激しい腹痛」になることがあります。

7性病だと何倍もエイズにかかりやすい?

クラミジアや淋病にかかっていると男子も女子も $2\sim5$ 倍もエイズにかかりやすくなります。

8アナルセックスは性病とエイズの危険大!

アナルセックスは HIV や性病等の感染リスクが高いと言われています。 これは直腸粘膜は 伸縮性がそれほどなく、また分泌液がないため傷つきやすいことや、精液が長時間留まりや すいことなどが原因と考えられています。

9性病は相手が1人でも感染するらしい

性病の感染の半分以上は、実は彼氏・彼女からうつっている、という衝撃の事実が明らかになりました。あなたは【今の彼氏の元カノ】または、【今の彼女の元カレ】を知っていますか?あなたの【今の彼氏の元カノ】が性病を持っていたら、あなたはいつのまにか彼氏から、性病をうつされてしまうかもしれないのです!! また逆にあなたの【今の彼女の元カレ】が性病を持っていたら、あなたはいつのまにか彼女から、性病をうつされる可能性もあるのです!! ですからまったく他人事ではありません。 たとえ大好きな彼氏・彼女でもセックスする時は必ずコンドームを使いましょう!!

WEB CONTENT: ENGLISH VERSION

AREA 2: SIDE MENU

1. About us

URL: http://wysh.jp/qy/en/about/index.html



About us

This is a site about young people's sexual and mental health, mainly junior high school and high school students. This site is developed by a study group from Kyoto University and supported by the Ministry of Health, Labour and Welfare.

WYSH (stands for Well-being of Youth in Social Happiness) is a project that aims to build a society where every child can live safe and sound.

What is Out of the box?

Some of you might be thinking that it has something to do with "out of the closet," but no, it doesn't. By "Box", there are 2 meanings that we'd like to covey.

First, the box of "norm." Norm is pervasive. That is why some people are not even aware of it. However, norm can hurt people, including your loved ones. For example, the norm that guys and girls are meant to be together. But, what about gay people or transgenders? The society that sticks to the norm will likely hurt people who fall out of the norm. Come to think about it, who created those norms anyway?

Second, the box of "sexuality." If you sort humans by their sexuality, and put them into boxes. It is likely that someone might not like to be in the box you put them in. What if you, yourself, are sorted into a box you do not think you belong to? If so, it is ok to jump out of that box, and take your time to reflect on which box you want to be in, or even not to be in any box at all.

With these 2 definitions of box in mind, we hope that by helping freeing people from the box, we can help make this world a more tolerant place for everyone to live happily.

2. Sexual health

URL: http://wysh.jp/qy/en/sexual/index.html



Sexual health

Sex is an important part of life. It can be great but it can also carry risks, such as sexually transmitted diseases and unwanted pregnancy. No matter if you are man or woman; straight, or not; or even if you are not sexually active, you need to inform yourself on important sexual health issues and this website can help you with that.

- →Safer sex
- → Sexually Transmitted Diseases (STD)
- → Pregnancy
- →Contraception
- → Menstruation-PMS
- → Reproductive Aging
- → Frequent sexual worries

2.1. Sexual health > Safer Sex

URL: http://wysh.jp/qy/en/sexual/02 01.html

Safer Sex

Being intimate with someone is a big decision for any person, especially for young people. It is important that all sexually active people, regardless of the gender of their preferred partners, learn about safer sex practices. Not all types of sexual activity or all partners will put a person at risk for a pregnancy, but all will increase someone's risk of contracting a sexually transmitted disease (STD).

What is safer sex?

Safer sex means taking steps before and during sex to protect you and your partner from getting an infection and an unplanned pregnancy. It means not allowing your partner's body fluids (blood, semen, vaginal fluids) into your body and vice versa. It can also mean covering up or avoiding contact with parts of the body that might be infectious (e.g. herpes sores or warts). In simple, it means "sex with fewer risks". It applies to everyone, no matter if you are straight, gay, lesbian, bisexual or unsure of your sexuality. It can also prevent pregnancy.

Safer sex also involves getting tested for sexually transmitted diseases (STD) each time you have a new partner. If you have an STD or HIV it is important to get treatment and tell your partner so he/she can get tested and treated as well.

Why should I practice safer sex?

People may be infected with HIV or other STD without knowing or having symptoms. You don't need to put yourself or your partner at risk. Practice safer sex and you are far less likely to get infected with an STD or the incurable four "H" (HIV, Hepatitis, Herpes or Human Papillomavirus (genital warts)). If you are having sexual activity, then practice safer sex because it only takes one wrong decision to get infected or pregnant. In addition to preventing the spread of diseases, having safer sex puts your mind and your partner's mind at ease so you both can enjoy having sex.

If I am lesbian, then I am safe?

NO. Although lesbians are at low risk of HIV infection, they can contract other STD such as herpes, human papillomavirus, and bacterial vaginosis. Lesbians can protect themselves from HIV and many STDs by ensuring that infected fluids, such as blood or vaginal fluids, do not enter their body during sex. A dental dam can be used as protection. The precautions between women are the same as those for many other type of couples.

How do I practice safer sex?

All forms of sexual contact carry some risk for infection. Not having any kind of sex play (abstinence) may be the only "safe" sex. However, certain precautions and safe behaviors can minimize your risk of contracting an STD.

Practice the following preventive measures:

- Delay sexual activity until you are prepared both physically and emotionally to have sex.
- Limit the number of your sex partners. Every time you have a new sex partner, you are being exposed to all of the diseases that all of their partners may have.
- Use a new male condom or female condom every time you have sex. Use a condom or dental dam during oral sex and anal sex.
- Get tested for STD, including HIV.
- Do not abuse alcohol or drugs because they impair your judgment and puts you at risk

Male condom

The male condom protects against STD and pregnancy by covering the penis and preventing direct contact. Condoms are not 100% safe, but when used correctly and in every sexual act, they can reduce the risk of infection.

Before you put on the condom...

- Select the right size. How well a condom fits depends on the penis circumference. Length is less important.
- Store condoms in a cool, dry place out of the sunlight. Avoid extreme high or low temperatures.
- Check the condom package for holes or tears.
- Check the expiration date.
- Be careful when you open the package, do not use teeth, fingernails or sharp objects as you can tear the latex
- Put the condom on before the penis touches the intimate parts of the partner. Men leak
 fluids from their penises before and after ejaculation. This fluid may infect with STD and
 possibly cause pregnancy.

How to put on a condom

- 1. Put the condom on after the penis is erect (hard) and before any contact is made between the penis and any part of the partner's body.
- 2. With one hand, pinch the tip of the condom to leave room for the ejaculate.

- 3. With the other hand, roll the condom to the base of the penis or object.
- 4. After ejaculation and before the penis gets soft, hold the base of the condom and carefully withdraw from your partner.
- 5. To remove the condom from the penis, pull it off gently, being careful semen doesn't spill out.
- 6. Wrap the used condom in a tissue and throw it in the trash, don't flush them down the toilet as it can clog the plumbing. Afterwards, wash your hands with soap and water.

When the condom...

- 1. Does not easily roll down the penis, it is upside-down. Remove it and use a new condom.
- 2. Breaks while you are having sex, stop immediately and pull out. Do not continue until you have put on a new condom.

Need more information? Watch this video

Remember the following...

- Never reuse a condom. Use a new condom for every act or vaginal, anal or oral intercourse
- Only use one condom at a time. Using two condom would cause friction that will tear one of both of the condoms

Female condom

Female condoms are much less common than male condoms. Women can protect themselves with female condoms when their partner does not want to use a male condom. These condoms fit inside the vagina and have two flexible rings. The smaller ring fits inside the vagina and covers the cervix. The larger ring hangs outside the vagina and covers the vulva.

In Japan, you may not find female condoms in store but you can purchase them online.

Dental dam

A dental dam, like a condom, is a barrier method. Even though oral sex is a low-risk sexual practice, you may want to use protection when performing oral sex on someone. Dental dams are small squares of latex that were made originally for use in dental procedures. They are placed over the labia or anus during oral-vaginal or oral-anal intercourse. They are now commonly used as barriers when performing oral sex on women, to keep in vaginal fluids or menstrual blood that could transmit HIV or other STD.

A new dental dam should be used for each act of oral sex; it should never be reused. In Japan, you may not find dental dams in store but you can purchase them online.

"It is better to be safe than sorry"

2.2. Sexual health > Sexually transmitted diseases (STD)

URL: http://wysh.jp/qy/en/sexual/02 02.html

Sexually Transmitted Diseases (STD)

Sexually transmitted diseases (STDs) are infections that you can get from having sex with someone who has the infection. The causes of STDs are bacteria, parasites and viruses.

Most STDs affect both men and women, but in many cases the health problems they cause can be more severe for women. If a pregnant woman has an STD, it can cause serious health problems for the baby.

If you have an STD caused by bacteria or parasites, your health care provider can treat it with antibiotics or other medicines. If you have an STD caused by a virus, there is no cure. Sometimes medicines can keep the disease under control. Correct usage of latex condoms greatly reduces, but does not completely eliminate, the risk of catching or spreading STDs.

HIV

coming soon...

Genital warts

coming soon...

Chlamydia

coming soon...

Gonorrhea